

# 「鍼灸」は「効果」があるのか？

## 第7回 鍼灸医学とヨーロッパ医学

琉球治療院 関 忠雄

### 1. 経穴と経絡

経穴については1973(昭和48)年に芹沢勝助先生が『人体 ツボの研究』を書かれてベストセラーになりました。「経穴」については理解が深まりましたが「経絡」については全く一般的な関心を呼び起こしませんでした。経穴と経絡は中国医学の独特の医学的概念で、ヨーロッパ医学では別個の医学的概念として意味付けがされていません。

ではヨーロッパ医学では経穴と経絡は何なのでしょうか？

人は通常痛みや苦痛のあるとき、特定の部分を押すなり擦るなどして苦痛を軽減させようとします。その特定部位を中国医学では経穴(ツボ)と呼びました。経絡は身体内外に拡がる連絡網(つながり)です。もとは中国の中医で由来し経験的な知見により見出されたもので、経穴は経絡上の要所にあります。中国の医書『十四経發揮』ではその経穴のつながりを解説しています。『十四経發揮』は古代の皇帝の治水事業にちなんで1341年に中国の滑寿が記したとされ、経絡や経穴について記載しています。現在の日本の鍼灸養成施設で使われている経絡や経穴の教科書は、この『十四経發揮』を参考に作られています。インドの医師がタイに仏教とともに医学を伝え、タイ人の経験医学と重なりできたタイ式マッサージ(本来は仏陀のマッサージ)では10のラインとしてまとめています。

現代のヨーロッパ医学でいえば、「経絡」は「末梢神経」と考えられます。もちろん古代の人たちは「中枢神経」と「末梢神経」の区別はできなかったため、両神経は同じものとして考えました。

現時点で再構成しますと、中枢神経が壊れた後での施術はリハビリテーションとしての鍼灸であり、末梢神経を前の状態に戻すのが治療としての鍼灸であると分類できます。現在はリハビリテーションとしての鍼灸に重点が置かれているので、治療としての鍼灸の要求を満たしていません。

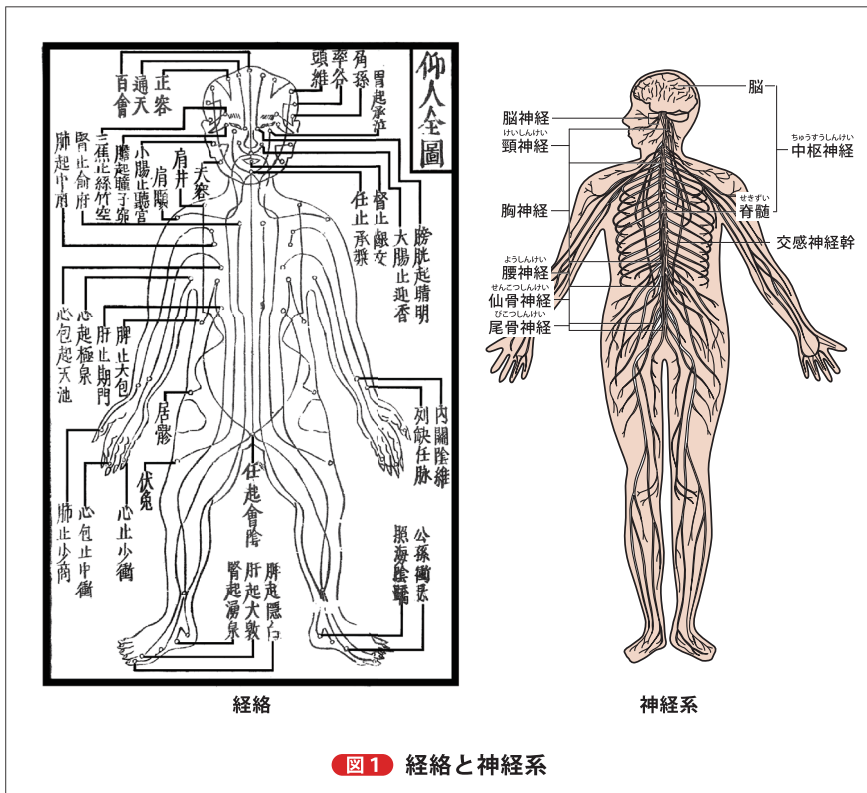


図1 経絡と神経系



## 関 忠雄 Tadao Seki

- 1949年 長野県生まれ
- 1973年 中央大学法学部卒業
- 1978年 早稲田鍼灸専門学校卒業／倉島宗二師に師事 臨床鍼灸学を研修  
関鍼灸治療室を開設
- 2003年 新潟大学医学部第一解剖学教室で末梢神経(自律神経:迷走神経)解剖を研修
- 2005年 佐野動物病院にて獣医学を研修
- 2006年 名古屋市れもん鍼灸接骨院院長
- 2013年 アルゼンチン(F・バレイラ)鍼灸院院長
- 2018年 アルゼンチンから帰国
- 2019年 琉球治療院勤務

## 2・鍼灸医学とヨーロッパ医学の相違点

鍼灸医学とヨーロッパ医学が出発点から異なっていたため、最初からそれぞれの目的も手技も違っています。

① 鍼灸医学は直接神経組織を刺激することで神経組織自体の変動を起こし身体を改善する。

② ヨーロッパ医学は薬液を体内に入れることで体内の変動を起こし身体を改善する。

このように根本的に異なっています。

鍼灸医学とヨーロッパ医学をもっと詳細に考察します。

「鍼灸医学」：中国の黄河流域で発達した文明(図2)がなによりに鍼のような技術を見つけたのは分かります。東洋に属する台湾では鍼のような技術がなかったと聞いていますので、従来の東洋医学・西洋医学という大雑把な分類は再検討する必要があるかもしれません。

「灸医学」：黄河流域で発達した文明よりもっと北の文明で使われていた古代医療がインド文明に伝わ



図2 黄河文明

り、仏教と同時に日本に伝わりました。原理的にも鍼灸医学とは全く別の古代医療です。

「ヨーロッパ医学」

：現在最も当たり前の医学だと思っっているヨーロッパ医学は

19世紀の科学技術の発展により大きく進歩しました。1846年のエーテル麻酔(図3)はそれまでの患者の苦痛を劇的に改善しました。また、

ルイ・パスツール(写真1)による微生物の研究は、腐敗を防ぐ低温殺菌法の発見(1857年)につながり、ヨーロッパ医学を現在の輝かしいものに導いています。医師ではなく科学者だったパスツールは一生を通じて一人の患者を診ることも手当てをすることもありませんでしたが、その後の数え切れないほどの患者を救いました。

私が鍼灸の勉強を始めた1973(昭和48)年頃は、今のようないりハビリテーションの鍼灸ではなく、ヨーロッパ医学と同様の「治療としての鍼灸」でした。この50年ほどの間に鍼灸医学は全く別のものに変わってしまいました。その変化もあまりにも自然に行われました。鍼灸医学がどうしてそうなったかを知り、鍼灸医学を再度考え直す必要があるというのがこの小文の目的です。

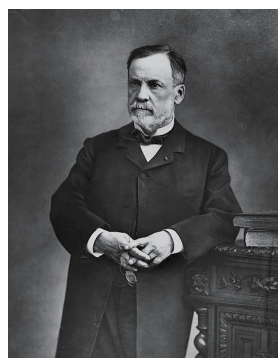


写真1 ルイ・パスツール



図3 エーテル麻酔